

未来の選択

一人類史上最大の危機の時代において世界で最も鈍感な日本人

218
13:30-15:30

NPO 法人TICO代表・医師

講師

吉田 修 先生

とき

2024年2月18日 日 13:30~15:30

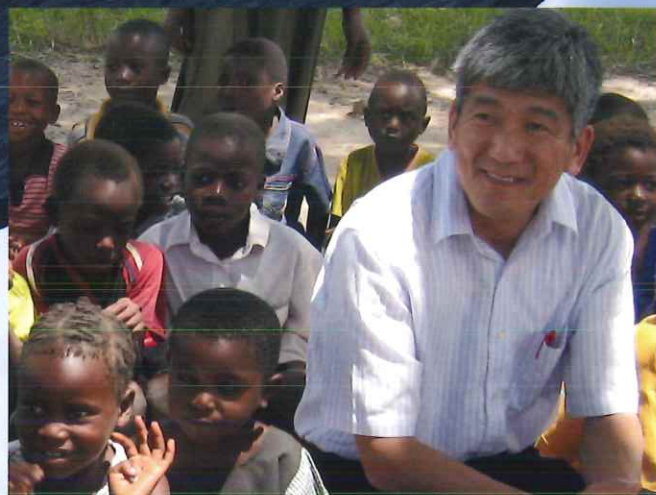
ところ

鳴門市賀川豊彦記念館2F 会議室

参加費

賀川豊彦記念館入館料 (大人 200 円)

鳴門市賀川豊彦記念館 国際交流集会



TICO の紹介

「顔の見える国際協力」を日本の一地域である徳島から実践してゆくことを目的として 1993 年 11 月に設立。2023 年 11 月 23 日で 30 周年を迎えた。

戦争、貧困、飢餓など地球規模の問題に苦しむ人たちの自立支援を共同作業により実践し、そこで学んだ経験と英知を徳島を中心とした地域の人々と分かち合い、持続可能な社会の構築を目指す。

現在は主にザンビア共和国を中心とした国際協力活動と徳島を中心とした地球市民教育に取り組んでいる。

吉田 修 先生プロフィール

1958 年生まれ、外科医。1989 年 JOCV (青年海外協力隊) としてマラウイに派遣される。帰国後、AMDA (アジア医師連絡協議会) に参加し、レバノン空爆後、イラン地震、モザンビーク帰還難民支援、ルワンダ内戦などの救援活動を行う。現在、徳島県吉野川市で青年海外協力隊出身者などと、さくら診療所と NPO 法人 TICO を運営する。地域医療を実践しながら、海外においてはザンビアならびにカンボジア支援を続けている。国内では地球市民教育に積極的に取り組んでいる。目標は持続可能な循環型社会。

主催・お問合せ・お申込み

認定 NPO 法人賀川豊彦記念・鳴門友愛会

TEL.088-689-5050

〒779-0225 徳島県鳴門市大麻町松字東山田 50-2

info@kagawakan.com

<https://www.kagawakan.com>



- 1993 ● 徳島で国際協力を考える会/TICO設立
- 1994 ● 団体機関誌「Face to Face」創刊
● 第1回チャリティ・バザー開催
● 地域保健プロジェクト(モザンビーク)
- 1995 ● 阪神淡路大震災 救援プロジェクト
- 1996 ● マザプカ農村地区診療所(ローカルNGO)支援プロジェクト(ザンビア)
- 1997 ● ザンビア展開催
● 第1回地球人カレッジ「ザンビア研究(1) 総論」開催
● 民生改善プロジェクト(ザンビア)
- 1998 ● 第1回ザンビア・スタディーツアー
● 救急隊整備計画①(ザンビア)
● 第1回 ゆず狩り
- 1999 ● 山川げんき市 オープン
● ヒダノ修一スーパー太鼓コンサート(第1回チャリティ・コンサート)
● 第1回 徳島国際チャリティ・マラソン
● 地球市民教育セミナー-中四国ブロック大会(NGO大交流会)開催
● チャイナマ医療技術大学機材供与②(ザンビア)
- 2000 ● 国際交流チャリティコンサート
● カニヤマ地区コレラ対策プロジェクト(ザンビア)
- 2001 ● ボランティア相談員派遣(徳島中央郵便局)
● 四国大学による栄養調査(ザンビア)
● リサイクルX線装置供与プロジェクト(ザンビア)(JICA事業)
● 救急隊整備計画②(ザンビア)
- 2002 ● 外務省NGO相談員受託
● 青年海外協力隊誌「クロスロード」に「さくらクニックと仲間たち」連載
● ザンビア南部州飢餓対策緊急医療支援(ザンビア)
- 2003 ● 早魃に強い村作り(ザンビア・チペンビ地区)
- 2004 ● NPO法人化
- 2005 ● 早魃に強い村作り(ザンビア・カルブエ地区)
- 2007 ● TICOユース(学生団体)発足(～2019年)
● TICO合宿(吉田代表宅で大学生らを受入れ)
● プライマリーヘルスケアプロジェクト(ザンビア)(JICA事業)
● マサカ・コミュニティ・スクール施設改善(ザンビア)
- 2008 ● 低所得者の人々の命を守るセーフティネット強化事業(カンボジア)(JICA事業)
● モオンパ・ベーシックスクール理科実験室建設(ザンビア)
- 2011 ● 東日本大震災被災者支援
● 緒方貞子氏(当時JICA理事長)TICO事務所訪問
- 2010～13 ● 安全な妊娠/出産の支援事業(ザンビア)(JICA)
- 2014～17 ● チサンバ郡総合的な農村母子保健を支える「地域力」強化事業(ザンビア)(JICA事業)
● 救急医療における人材育成を通じた国際協力(カンボジア)プロジェクト(実施団体:セカンドハンド)に専門家派遣(JICA事業)
- 2017～ ● 心臓血管外科手術技術移転事業(ザンビア)
- 2018 ● 第44回大山健康財団賞
- 2019 ● カンボジア国救急医療に係る研修コース・試験制度の構築と市民への応急処置法の普及事業(JICA)採択
- 2022 ● ウクライナ避難民支援
● 第58回徳島新聞大賞受賞



▲菜園プロジェクトで人参を収穫 (Face to Face No.9 2006年)



▲小規模農村開発ローンでお店を経営する女性 (Face to Face No.9 2006年)



▶養鶏ローンで事業を始めた人々 (Face to Face No.29 2012年)



▲壊れて放置されていた牛消費用の薬浴酒の復旧作業 (Face to Face No.9 2006年)

▼救急搬送に関する技術支援(カンボジア) (Face to Face No.14 2008年)



▲救急医療分野の人材育成(カンボジア) (Face to Face No.26 2011年)



▲救急医療分野の人材育成(カンボジア) (Face to Face No.26 2011年)



▲ゆず狩り (1998年～2019年)



▲安全な妊娠/出産の支援事業(JICA事業) (Face to Face No.29 2012年)



▲第58回徳島新聞大賞受賞 (Face to Face No.59 2022年)



▲豚の心臓を使って手術のトレーニング(ザンビア心臓血管外科手術技術移転事業)



▲2022年3月ウクライナに医師派遣。現在は在日避難民の相談に応じ医療面で支援を続けている (Face to Face No.58 2022年)